

新型コロナウイルスワクチン接種後の健康診断について

京都民医連あすかい病院 健診センター (お問合せ電話 075-712-9160)

新型コロナウイルスワクチン接種後の人間ドック・健康診断等についてのお問い合わせを多数頂いております。当院では以下の対応をとっておりますので、ご予約・ご受診いただく前にご確認ください。

《人間ドック・健康診断についての注意事項》

新型コロナワクチン接種後の副反応による発熱や全身倦怠感がなければ、人間ドック・健康診断を受診していただくことは、問題ありません。

副反応で発熱や全身倦怠感など体調異変が発生した場合、2～3日後に改善されれば、その後の受診が可能です。

なおワクチン接種の有無にかかわらず発熱等が認められる場合は、症状が改善するまで人間ドック・健康診断の受診はお控えいただき、安静にお過ごし下さい。また必要な場合外来受診をお勧めします。健診キャンセル等は電話連絡をお願いいたします。

《乳がん検診（マンモグラフィ・乳房超音波検査）についての注意事項》

ワクチン接種後の副反応として発熱や全身倦怠感以外に、脇の下のリンパ節が一時的に反応性に腫大することがあると報告されております。（ワクチン接種後のリンパ節腫大は、良好な免疫反応を獲得している兆候ですので、心配はいりません。）一方で、通常の乳がん検診でのマンモグラフィや超音波検査では、腋窩リンパ節が明らかに大きい場合、精密検査が必要と判断されることがあります。

乳がん検診でのこれらの検査は接種前、または2回目接種してから **6～10週間以降**の受診を推奨しています。（日本乳癌検診学会手引き 2021年6月更新）ただしワクチン接種後、上記期間以内であってもご本人様の意思により検査することは可能です。その際は判定時の参考のため、当院スタッフへお申し出ください。